

《参考資料》

1. 原料費調整制度の概要

- (1) 原料費調整制度は、LNGとブタンの輸入価格（貿易統計値）の変動に応じて、毎月、従量料金単価（1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- (2) 基準平均原料価格（38,640円/トン）と平均原料価格（5～3か月前の3か月間のLNGとブタンの輸入価格）の差額100円につき、1m³あたり0.082円（税抜き）調整します。
- (3) 平均原料価格が、基準平均原料価格の1.6倍（61,820円/トン）を上回った場合は、61,820円/トンを平均原料価格として従量料金単価を調整します。

2. 標準家庭のガス料金 [月間ガス使用量23m³] (平成22年2月検針分の適用料金)

(1) 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}\text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9919 + \text{ブタン平均輸入価格} \times 0.0087 \\ &= 42,160(\text{円/トン}) \times 0.9919 + 57,750(\text{円/トン}) \times 0.0087 \\ &= 42,320.929(\text{円/トン}) \\ &\Rightarrow 42,320(\text{円/トン}) \quad \text{※10円未満四捨五入}\end{aligned}$$

(2) 平均原料価格と基準平均原料価格との差額（原料価格変動額）の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 42,320(\text{円/トン}) - 38,640(\text{円/トン}) \\ &= 3,680(\text{円/トン}) \\ &\Rightarrow 3,600(\text{円/トン}) \quad \text{※100円未満切り捨て}\end{aligned}$$

(3) 従量料金単価調整額（税込み）の算定

$$\begin{aligned}\text{調整額} &= \text{原料価格変動額} \times 0.082(\text{円/m}^3) \div 100(\text{円/トン}) \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 3,600(\text{円/トン}) \times 0.082(\text{円/m}^3) \div 100(\text{円/トン}) \times 1.05 \\ &= 3.0996(\text{円/m}^3) \\ &\Rightarrow 3.09(\text{円/m}^3) \quad \text{※小数点第3位以下切り捨て}\end{aligned}$$

(4) 従量料金単価（税込み）の算定 [一般ガス供給約款 料金表Bの場合]

$$\begin{aligned}\text{従量料金単価} &= \text{基準単位料金} + \text{従量料金単価調整額} \\ &= 206.67(\text{円/m}^3) + 3.09(\text{円/m}^3) \\ &= 209.76(\text{円/m}^3)\end{aligned}$$

(5) ガス料金 [早収料金、税込み]

$$\begin{aligned}\text{ガス料金} &= \text{基本料金} + (\text{従量料金単価} \times \text{ガス使用量}) \\ &= 1,004.11(\text{円}) + (209.76(\text{円/トン}) \times 23(\text{m}^3)) \\ &= 5,828.59(\text{円}) \\ &\Rightarrow 5,828(\text{円}) \quad \text{※1円未満を切り捨て}\end{aligned}$$

以上